

中信高校山岳部かわらばん

編集責任者 大西 浩

池田工業高等学校

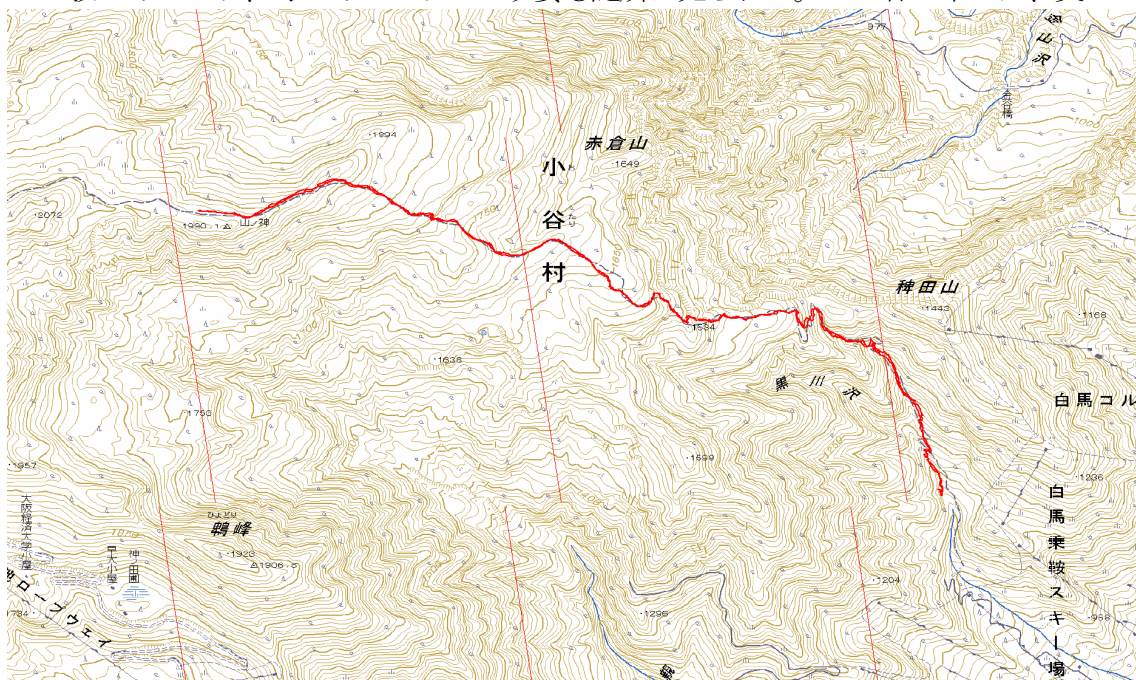
2011 中信安全登山研究会・技術研修交流会

例年行なわれている中信安全登山研究会の技術研修交流会(中信安全登山研究会主催、中信高体連共催)が10月28日(金)、29日(土)に行なわれた。参加校は7校。参加人数は顧問8名、生徒12名の合計20人。初日は、白馬高校の合宿所をお借りして、大町北高の小林國弘先生を講師にしたロープワークと、不肖私のヤズィックアグル峰登頂報告の二つの研修を行なった。翌日の実践を想定したフィックスロープの通過を中心とした研修は、生徒の参加者の多くが1年生だったため、結び方、道具の名称からはじめ基礎的なところからの再確認となったが、互いに教え教えられという中で、様々なアイデアも出て、有意義かつ楽しい研修となった。小生の報告は、新人戦と重なる部分もあったため、今回は動画を交えて行なったところ、手前味噌ながら迫力があると好評だった。



2日目は、白馬乗鞍スキー場から山の神までの登山道を使って、読図とロープワークを中心とした総合的な登山技術の研修を行なった。地図の正置からはじめ、現在地の確認、地図と実際の道のズレなどを確認

しながら、ゆっくりと登った。前日の宿泊で、生徒同士も気持ちを通じ、学校の枠を越えて教えあったり、尋ねあったりという姿も随所に見られた。ブナ林の中では、美しい



ブナ林を見ながら、みんなでブナの実を拾って食べてみたりもした。

予定では天狗原あたりまで登る予定だったが、意外と時間がかかったため、山の神までで行動を打ち切り引き返した。下りでは急坂の部分でフィックスロープを張り、安全に通過する方法を研修した。快晴の天気ということもあって、とてもよい研修会だった。

事務局の大町北高、西牧先生には事前の準備、設営から当日の運営までの一切を取り仕切っていただきました。ありがとうございました。

ヤズィックアグルの蒼い空 17 山よさよなら

今日も無風快晴。ヤズィックアグルの神が我々を祝福してくれているかのようだ。朝一でキジ撃ちに行った松田さんが、「我々のトレースが見えるぞ。」と興奮気味に大声で叫ぶ。我々は昨日、間違いなくあの白い頂きに立ったのだ。・・・しかし、人間というものはいかに精神力、気力の塊であるかということを感じ知らされた。動こうにも全く身体が動かないのだ。頭の中では、ああしろ、こうしろと命令するのだが、登頂を終えた身体はまったくその指令にしたがわない。シュラフをたたむこと、お湯を沸かすこと、食事・・・どれも億劫である。

充実感の先にある脱力感と虚脱感。テントに陽が当たり出すと、気温もあがり、その中は黄色いテント生地を映し出したアンニュイな光に満たされて、身体からすべてのものが抜き取られてしまったような感覚を覚える。その状況、その感覚は皆同じなのだが、10:30に若い二人が昨日残してきたフィックスドロープの回収に向かってくれた。彼らの献身的な行動には本当に頭が下がる。

二人が帰幕するまでには、残った3人で撤収をしようと思うが、一つひとつの動作は緩慢で、動きながら自分で自分のスローモーション映像を見ているかのようだ。そして一つの動作を終えるたびにごろりと横になってしまうのである。1時間以上かかってようやく私物の整理を終え、テントの撤収にかかった。11:45ごろロープを回収してきた二人が戻ってきた。今日も天気は上々。ヤズィックアグルを望みながら、みんなでへたり込んで、誰言うともなく雪山賛歌の最終節を歌った。「山よさよなら、ごきげんよろしゅう、また来る時にも笑っておくれ」もう二度と来ることはあるまいが、山への感謝を込めて大声で歌った。

13:30 さあ、行こうかと声をかけ、ザックを背負い終わると、松田さんが山に向かって「さようなら！」と大声で呼びかけた。これを潮にC2を後にした。

途中のフィックスドロープもすべて回収しながらの作業で、一人当たりの平均の担架量は20kgを優に越えていただろうと思われる。15:30、C1に到着。このころから風が出てきたが、まだ時間的な余裕があり、雪上よりは快適な場所に泊まろうということで、ここに若干の荷物をデポして、我々が広河原と名付けていた気持ちのいい河原沿いの場所まで下った。佐藤君は、締め切りに間に合わせるために、ここで仕事を終えてから一人で下ることとなった。氷河から降り、対岸へ渡るとき、三戸呂君が足をひねった。そこで、ここからは空身で歩かせ、僕がダブルボッカで荷下ろしをしたが、2度目の登りのきつかったことは筆舌に尽くしにくい。

夜、ミーティングで、ここをABCとC1のリレーキャンプ(RC)とし、明日以降荷下げの中継地点とすることなど今後の予定の確認をする。その後は昂揚した気分もあつてか、他愛もない話が縦横無尽、深更まで続いた。